

平成30年度
～わかりやすい版～



子どもセンターあおぞら

東久留米市の予算

～教えて！（コンテンツ）～



- 「予算」から分かることは
- 予算書のどこをチェックすればいいのかな
- 30年度には市のお財布からどれくらいのお金が出ていくの
- 市の収入にはどのようなものがあるの
- 「地方交付税」は、誰が支払っている税金なの
- 「その他の収入」には、どのようなものがあるの
- 市民が納めた税金はどのように使われているの
- サービス別の市民一人あたりの負担はいくら
- 歳出を費用の性質別に分類するとどのような特徴があるの
- 特別会計では、どのような事業が行われているの
- 市の預金はどのくらいあるの
- 市の借金はどのくらいあるの
- 30年度の東久留米市の主な事業
- 予算から見えてくる東久留米市の課題は
- 30年度予算事業を地図で見る

「予算」から分かることは…

その都市が目指す将来像

☆第4次長期総合計画でのまちの将来像☆

“**自然** **つながり** **活力あるまち**”

東久留米



市長が予算案を市議会に提案し、それを市議会が承認して予算が成立します。

東久留米市では、第4次長期総合計画 後期基本計画に掲げられた基本目標に基づき市長がつくった平成30年度予算案を3月に市議会へ提出し、審議の結果、承認されたため、この予算に従って30年度の行政サービスを実施していくことになります。

まちづくりの基本目標は……

- ☆計画を推進していくために
- ☆にぎわいと活力あふれるまち
- ☆住みやすさを感じるまち
- ☆健康で幸せにすごせるまち
- ☆子どもの未来と文化をはぐくむまち
- ☆地球環境にやさしいまち



? 予算書のどこをチェックすればいいのかな

予算書には、市の1年間の収入の全てが「歳入」欄に記されています。一方、市の1年間の全ての支出が「歳出」欄に記されていて、常に歳入と歳出の総額が……



歳入 = 歳出

と等しくなっています。

しかし、実際には市民に行政サービスを提供するために1年間に予定できる収入だけでは不足するため、一般家庭と同様に、預金を取り崩したり借金をしたりして、不足分を埋めます。だから、どのような行政サービスに税金などの収入を使っているかだけではなく、預金(積立金)や借金(債務)の状況も併せてチェックする必要があります。

予算は4月から翌年3月までの1年を期間とし、その間の全ての収入と支出の見積額を盛り込んで編成しますが、予定外の支出が求められたり、予定していたより収入が増減することがあります。そういう場合は年度の途中でも「補正予算案」を市長が市議会に提出し、承認されれば予算の内容を変更することができます。

？ 30年度には市のお財布からどの
くらいのお金が出ていくの



一般会計予算（一般的な行政にかかるお金を支払うためのお財布）

431億9,400万円

（29年度予算と比べ、19億5,400万円、4.7%の増）

特別会計予算（決まった用途のため、お金を支払うためのお財布）
※東久留米市では、国民健康保険、後期高齢者医療、介護保険、下水道事業の4つの特別会計があります。一般会計のお財布とは別に、4つのお財布をそれぞれ管理していると見てください。

271億6,209万9千円

（29年度予算と比べ、21億6,070万7千円、7.4%の減）

総額 703億5,609万9千円

（29年度と比べ、2億670万7千円、0.3%の減）



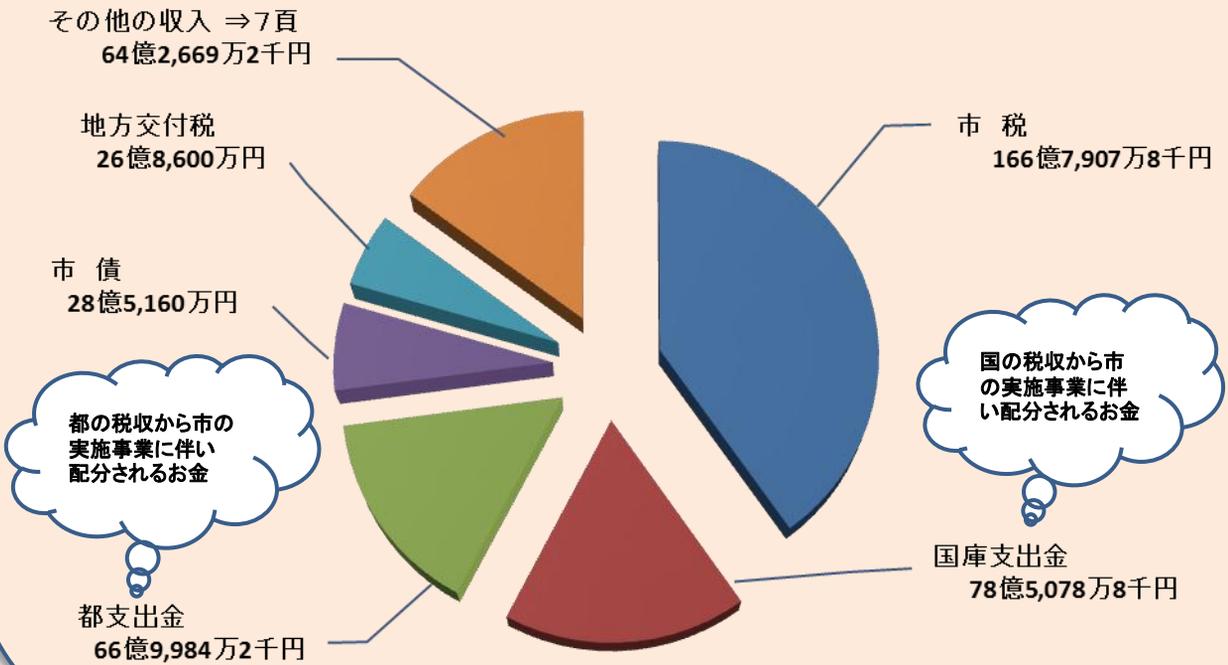
次のページからは「一般会計」のお財布の中身について詳しく見てみよう！
特別会計の内容については11ページで詳しく説明します。

? 市の収入にはどのようなものがあるの



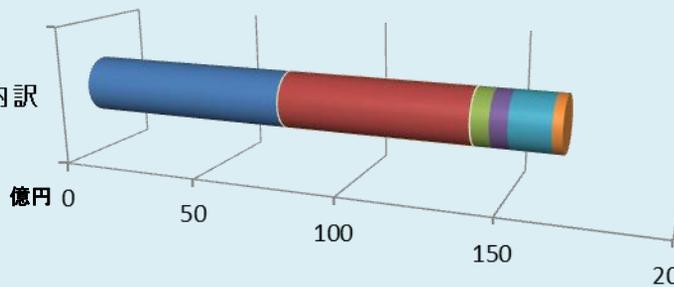
主な収入は、市民の皆さんに納めていただいた市税です。そのほか国や都からの収入、市債(融資団体や金融機関からの借り入れ)などがあります。

30年度予算 歳入の内訳



個人の所得に応じて課税されるのが個人市民税で、土地・家屋などに課税されるのが固定資産税です

市税の内訳



都市計画税は土地・家屋を所有する個人・法人が都市計画に基づく市の事業のために納める目的税です

■ 個人市民税 ■ 固定資産税 ■ 法人市民税 ■ 市たばこ税 ■ 都市計画税 ■ その他

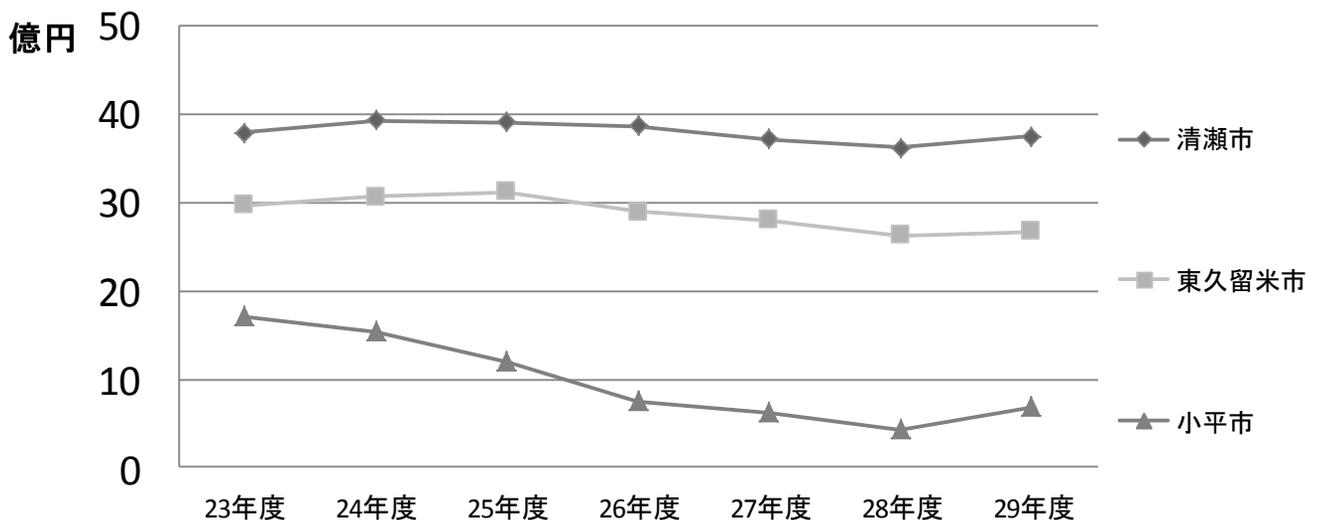
法人の所得に課税されます



? 「地方交付税」は、誰が支払っている税金なの

- 市町村の独自の収入のうち多くを占めるのは市税ですが、市税収入は都市部や大きな企業がある都市に偏りがちです。しかし、そこに住む市民一人ひとりが必要とする行政サービスには大きな差はありません。
- そこで国は、都道府県と市町村に、税収が少なくても標準的なサービスが提供できるように、独自収入が多い団体と少ない団体とで差をつけてお金を配分する制度をつくっており、それが「地方交付税」です。
- 地方交付税のもと、市民が国に納めている税金で、所得税・法人税・酒税・消費税などの一定割合が充てられています。
- 地方交付税には普通交付税と特別交付税があり、特別交付税は大きな災害で被害を受けた市町村の復興のために交付されたりします。
- 都道府県では唯一、東京都は普通交付税を交付されておらず、29年度では全国で75市町村、多摩26市の中では、比較的市税収入が多い府中市や武蔵野市、立川市など9市1町は普通交付税を交付されていません。このように普通交付税を受けていない地方公共団体は「不交付団体」と呼ばれます。
- 東久留米市には、近年は20億円を超える額が毎年交付されていて、これはどんな目的にでも使える、市にとって大切な収入源となっています。

近隣市との普通交付税の比較(決算額)





？ 「その他の収入」には、どのよ うなものがあるの

地方消費税交付金 19億1,300万円

国に納められる8%の消費税のうち、1.7%は地方消費税であり、都道府県を通して、そのうち概ね半分が市町村に交付されています。

平成26年4月から税率が3%引き上げられることとなり、この引き上げ分は法律で福祉のために使うこととされ、東久留米市でも、地方消費税交付金のうち引き上げ分については、高齢者・障害者・児童・ひとり親家庭などの福祉のために使っています。

分担金及び負担金 5億9,285万5千円

行政サービス等を受ける市民に費用の一部を負担していただく場合があります。保育園を利用する児童の保護者に負担していただく「保育運営費保護者負担金」が多くを占めます。

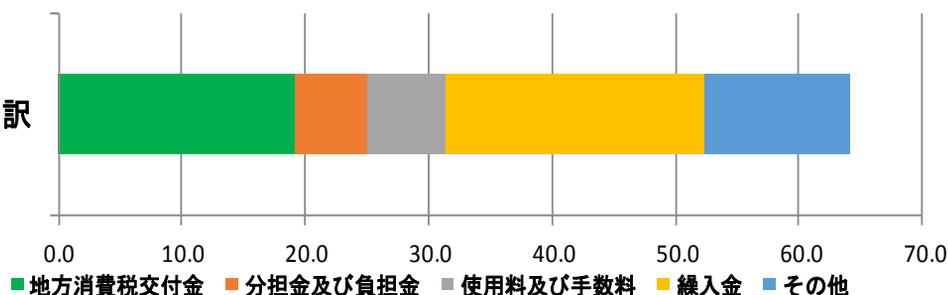
使用料及び手数料 6億4,153万9千円

使用料には、公共施設を借りる場合の使用料や、自転車等駐車場使用料、学童保育使用料、道路占用料などがあります。手数料には、住民票など証明書発行手数料や、清掃手数料などがあります。平成29年10月から家庭ごみの収集について手数料をいただくようになりました。

繰入金 20億8,980万3千円

今年度に予定している支出と収入との差を埋めて予算を組むための最後の手段として、積み立ててきた預金を投入しています。積立金については、12頁をご覧ください。

その他収入内訳



「その他」には、諸収入・前年度繰越金・地方譲与税・財産収入などがあります。

? 市民が納めた税金はどのように使われているの



30年度予算の使いみち

子ども、高齢者、障害者などの福祉のために

義務教育や文化・スポーツなどのために

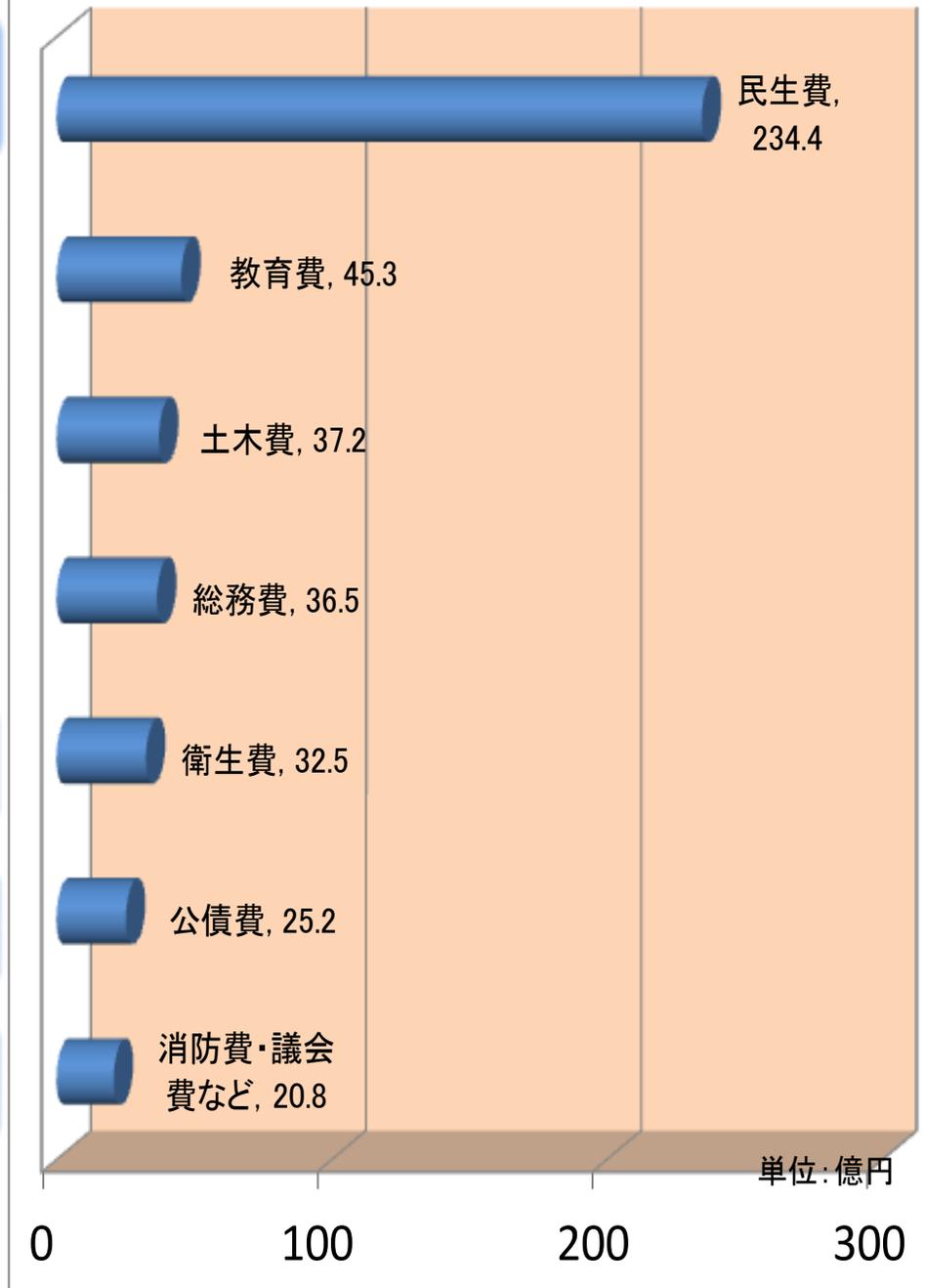
道路・橋や公園整備など、まちづくりのために

市政運営のために

健康づくりや、ごみ処理などのために

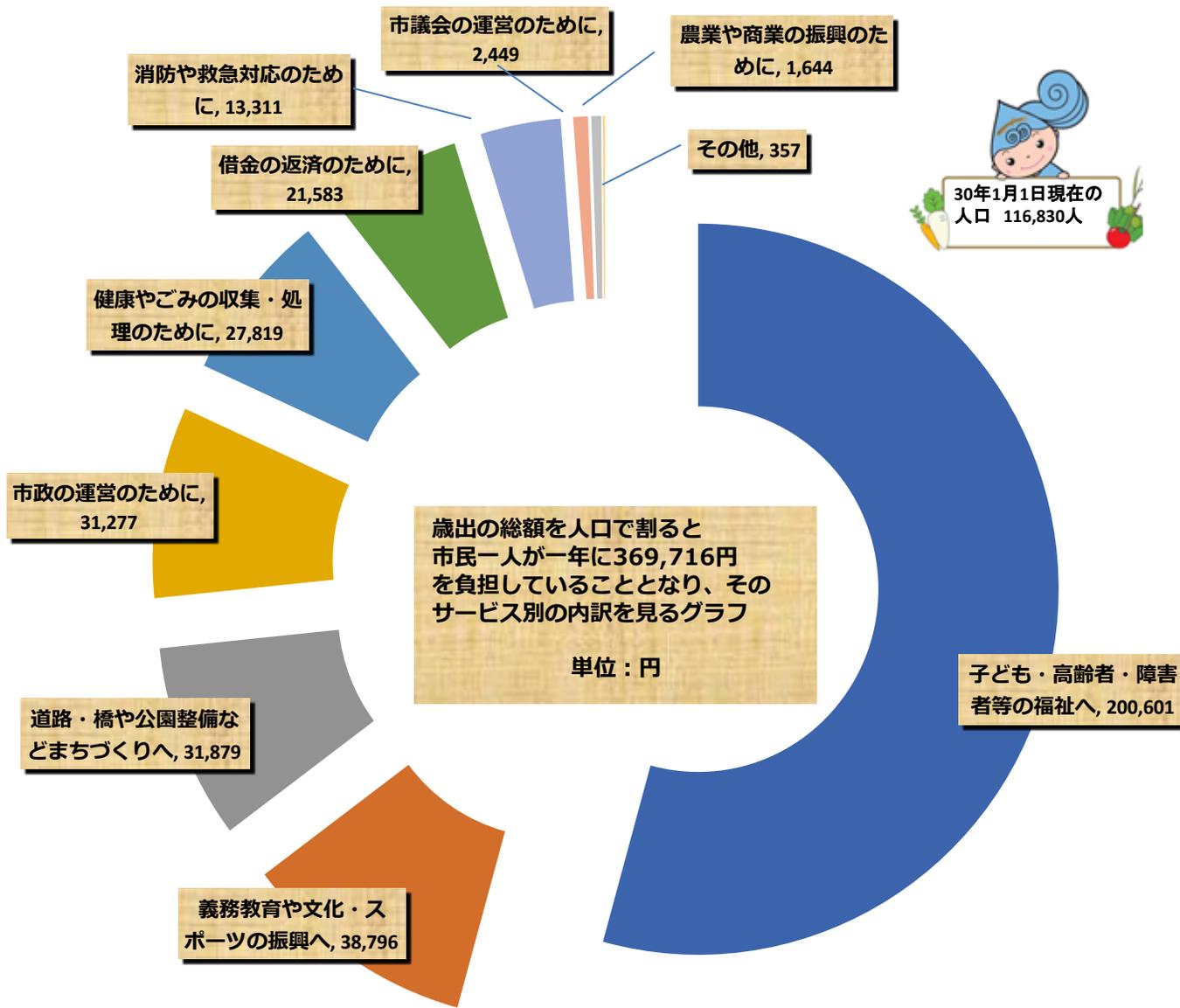
借金の返済のために

消防・救急や議会運営などのために



？

サービス別の市民一人あたりの負担はいくら



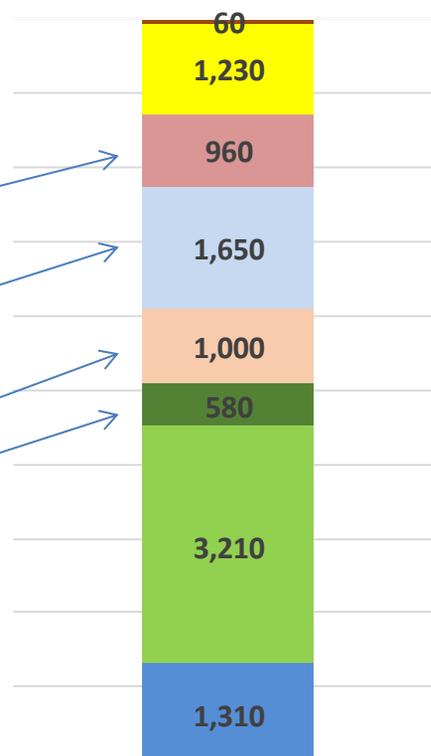
東久留米市では住みたい、住み続けたいまちに向けて、子育てがしやすいまちづくりを進めており、子ども・子育て支援に多くのお金を使っています（上のグラフと同様に、市民一人あたりの負担で見ると……）

- ・私立保育園の運営及び建設費の補助、子ども子育て支援、公設民営保育園の運営委託等のために……32,315円
- ・公設公営保育園の運営のために……10,714円
- ・幼稚園と認定こども園の運営と保護者の支援のために……3,551円
- ・小中学校の校舎の改修と運営のために……26,601円（教員の給料は東京都負担なので含まれていません）
- ・学童保育所の運営のために……3,144円
- ・児童館の運営のために……3,343円

？ 歳出を費用の性質別に分類すると どのような特徴があるの

単位：円

- <その他>維持補修費・予備費など
- <繰出金>特別会計のお財布への補てん
- <補助費>市民団体などへの補助費や負担金
- <物件費>物品の購入費や事務の委託費など
- <投資的費用>公共施設やインフラ施設への投資に
- <公債費>過去の借金の返済に
- <扶助費>福祉サービスや手当などの給付費
- <人件費>職員の給与費や市長、議員等の報酬など



歳出予算額を1万円とすると

普段はあまり聞きなれない項目もあると思いますが、上のグラフの内容を見ると市が法律などにより義務的に支出をしなければならない経費である「人件費・扶助費・公債費」が全体の半分を占めていることが分かります。特に、扶助費として市民の方々の福祉のために支出している経費が全体の約3分の1で、この経費は年々増加しています。「投資的経費」は市民の皆様が普段利用する道路や公園、学校などの将来にわたり長く使用する施設を整備する経費であり、その30年度の予算額は前年度の1.6倍に増えています。また、その財源には国や都からの補助金のほか、政府系の金融機関からの借金も入っています。その借金を返済する経費が公債費として後年度の負担になります。その他の経費として、物品を購入したり、事務を民間の事業者に委託したりすることでかかる「物件費」や、各種団体などの公益性のある活動などに対して補助をする「補助費」などがあります。

？ 特別会計ではどのような事業が行われているの



東久留米市には、次の4つの特別会計があり、それぞれ独自の収入によって事業を行っていますが、それだけでは足りないため、一般会計から市税等の一部を投入して運営されています。このため、特別会計の赤字が大きくなると市財政全体に影響が出てしまいます。特別会計の健全な運営も求められます。

特別会計の種類	事業の内容	30年度の 予算総 (千円)	一般会計か らの投入額 (千円)
国民健康保険	自営業を営む人など社会保険に加入していない74歳までの人が加入する医療保険で、加入者が納める国民健康保険税などによって運営されています。	12,475,494	1,397,917
後期高齢者医療	75歳以上の高齢者(※)が加入する医療保険で、加入者が納める保険料などによって運営されています。 ※一定の障害がある方は65歳から加入できます。	3,025,965	1,497,042
介護保険	居宅や施設で介護サービスをうけられるように給付事業を行っており、40歳以上の人々が納める介護保険料などによって運営されています。	8,758,285	1,416,196
下水道事業	下水道施設の運営や、維持・更新のための事業を行っており、水道料金と共に市民が納めている下水道使用料などによって運営されています。	2,902,355	989,014

？ 市の預金はどのくらいあるの



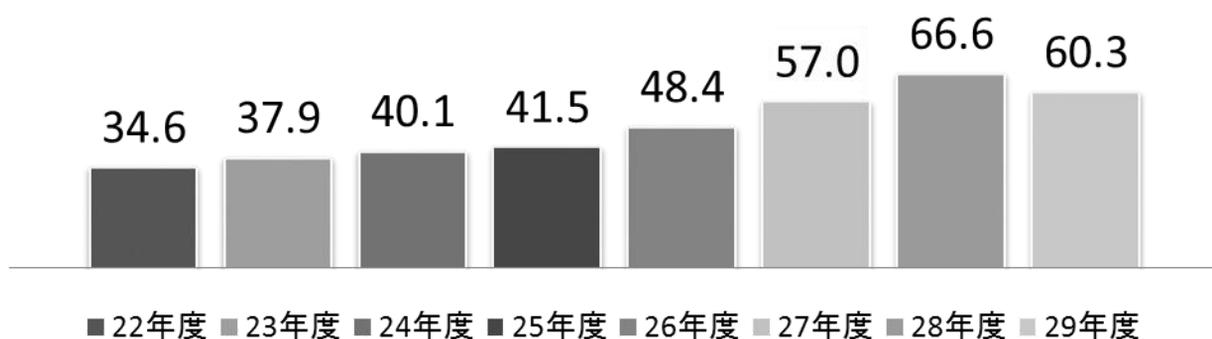
一般会計の28年度末積立金（預金）残高は約66億6千万円で、市民1人あたり57,009円（26市中「金額が多い順」で14番目）となっています。

（参考）多摩26市全体で見ると、1人あたり73,918円

積立金（預金）残高

単位：億円

預金の推移



預金の種類

※22～28年度までは決算額、29年度は見込額です

積立金の名称	使いみち	29年度末現在高見込み(千円)
財政調整基金	災害時への備えや、年度間の収入の調整のために使える積立金	3,597,565
みどりの基金	緑地の保全や拡大のために限って使える積立金	951,320
公共施設等整備基金	公共施設の改修や更新のために限って使える積立金	706,205
教育振興基金	教育施設の改修や更新、教育用の高価な備品の購入のために限って使える積立金	234,120
郷土美術館建設基金	市民の芸術作品や歴史的な文化財を展示する施設を建設するために限って使える積立金	175,789
自転車駐車場整備基金	自転車駐車場を整備したり、その用地を買うために限って使える積立金	106,191
ふるさと創生基金	特色のあるまちづくりのため、伝統芸能の保存などの目的で使える積立金	74,666
都市計画事業基金	道路建設などの都市計画事業や土地区画整理事業のために限って使える積立金	179,497



? 市の借金ほどのくらいあるの

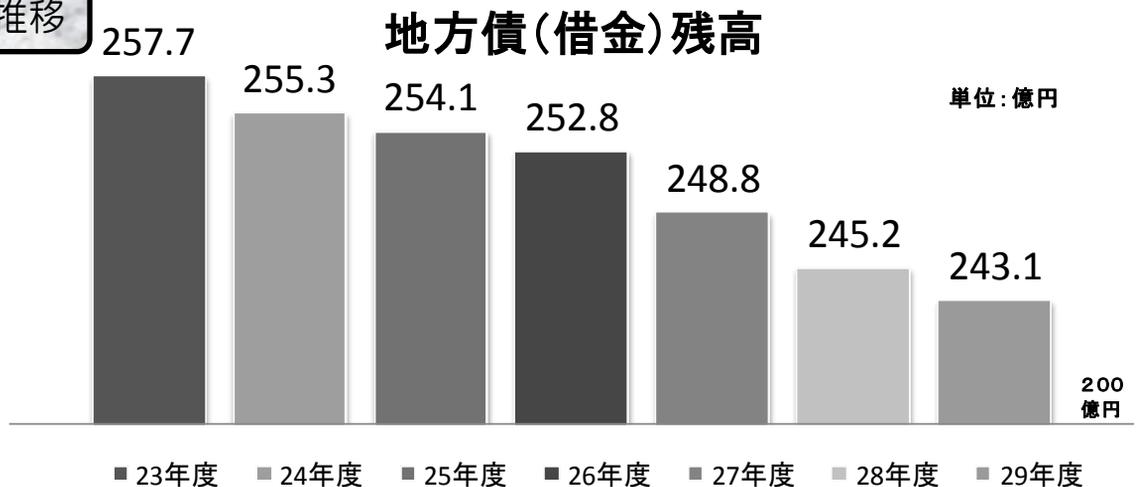
市の普通会計の、28年度末での借金残高は約245.2億円で、市民1人あたり209,806円（26市中「金額が少ない順」で16番目）となっています。

（参考）多摩26市の平均で見ると、1人あたり203,889円

一般家庭でも大きな買い物をする時はローンを組むように、市でも多額の費用が生じる公共施設や、道路や橋などのインフラ施設を建設をする時には、長期のローンを組みます。これを普通建設事業債と言います。市には毎日、転入する人、転出する人がいます。このため、長く使用する施設のための費用は、現在市内に住んでいる人だけに負担していただくのではなく、今後市に住むことになる人たちにも負担をしていただくためにも、借り入れをして長期で返済することは有効とされています。

また、国の財政において地方交付税の財源が不足しているため、平成13年度から、地方交付税の振り替え措置として、交付されるべき金額の一部を市が借金して財源を確保する制度が導入されました。この借金を「臨時財政対策債」と言います。その返済時の元利金は、国が後年度の地方交付税において措置する約束になっています。東久留米市の借金残高のおよそ3分の2は、臨時財政対策債の残高となっています。

借金の推移



※23～28年度までは決算額、29年度は見込額です



30年度の東久留米市の主な事業①

☆計画を推進していくために

- 長期総合計画策定事業
- 社会保障・税番号制度導入に伴うシステム整備
- 公共施設マネジメントの推進 など

長期総合計画策定事業 1,146万7千円

東久留米市がより魅力あるまちになるよう、市民の方々がどのようなまちになることを望んでいるかのアンケート調査実施や今までの振り返り評価などを行って、今後の方向性を示す第5次の長期的な総合計画を作ります。

公共施設マネジメントの 推進のために 14億809万9千円

義務教育施設をはじめ、老朽化している市の8箇所の施設で、大規模改修や空調機・照明器具などの更新工事を実施し、長寿命化を図ります。31年度に向けて7箇所の改修等の実施設計を行います。

社会保障・税番号制度 導入に伴うシステム整備 1,461万7千円

市で使用しているシステムをマイナンバーの利用できる環境に整備します。

☆その他の事業

○市議会インターネット録画 配信事業の拡大 140万円

市議会をスマホ・タブレット端末からも視聴できるようにします。

30年度の東久留米市の主な事業②



☆にぎわいと活力あふれるまち

- 市民みんなのまつり運営事業
- 南部地域センターの改修工事 など

☆健康で幸せにすごせるまち

- 浅間町地区センター屋上防水工事
- わくわく健康プラザ体育室床改修工事
- 定期予防接種費用助成事業 など



29年度市民まつりで東久留米音頭

わくわく健康プラザ 体育室の改修に 842万4千円

わくわく健康プラザの体育室で床の経年劣化により利用に支障が生じているため、改修工事を行います。

市民みんなのまつりの 運営のために 545万4千円

地域の絆を深め、地域産業の活性化につなげるため、実行委員会が主体となって「市民みんなのまつり」を盛り上げていきます。

定期予防接種費用の助成のために 1,510万9千円

里帰り出産等のやむを得ない事由により児童が東久留米市の契約医療機関以外で定期予防接種を受けたときに、保護者が負担した費用の一部助成を行います。

南部地域センター屋上 の改修に3,800万円

南部地域センターで、経年劣化による支障が発生しているため、屋上の改修工事を行います。



30年度の東久留米市の主な事業③

☆住みやすさを感じるまち

- 上の原地区のまちづくり関連事業
市道229-1号線及び市道203号線整備事業
- 都市計画道路東3・4・13号線及び21号線整備関連委託
- 都市計画道路沿道本町、小山及び幸町地区計画策定事業
- 都市計画道路東3・4・5号線と東3・4・20号線整備事業
(引き続き整備を行い今年度中の交通開放を目指します) など

上の原地区のまちづくりに

市道229-1号線の整備
2億5,680万円
市道203号線の整備
1億2,100万円

上の原地区のにぎわいと活力あるまちづくりを進めるために、都市計画道路東3・4・20号線と上の原地区をつなげる道路を築造します。また、地区内の市道203号線の拡幅整備を行います。どちらも30年度に完成予定です。



現在の事業計画の概要



市道229-1号線（29年度までに整備した部分）



30年度の東久留米市の主な事業④

☆子どもの未来と文化をはぐくむまち ①

- 私立保育園施設整備費補助（新設2園）
- 保育従事職員宿舍借上げ支援事業
- 妊婦全数面接の実施
- 中央児童館の大規模修繕と指定管理委託
- ICT教育環境整備拡充事業

私立保育園施設整備費補助 7億2,430万2千円

新川町に新設を予定している私立保育園の建設費と、平成30年3月末に閉園した幼稚園跡地を活用して保育園を開設するための建設費を補助し、待機児童対策を充実します。

保育従事職員宿舍借上げ支援事業 6,888万円

保育の人材確保のため、保育従事職員の宿舍を借上げるための費用を補助します。

全小中学校でICT教育環境の整備 1億1,766万1千円

児童・生徒が使用するパソコンをタブレット型に変更していきます。校内のWi-Fi環境も整備し、使用場所を限定することなく、普通教室でもタブレット端末を活用した授業を行うことができるようにします。また、併せて電子黒板機能付きプロジェクターや実物投影機を整備します。

妊婦全数面接事業 713万2千円

妊娠期からの切れ目のない支援を目指し、母子健康手帳交付を機に専門職による妊婦の全数面接を行います。

中央児童館大規模修 1億8,610万円

中央児童館の長寿命化のために、外壁・屋上改修や空調設備の更新工事などを行い、今後も安全に利用できるようにします。また、31年1月から指定管理を導入し、休日開館や開館時間の延長でサービスを充実させます。

☆子どもの未来と文化をはぐくむまち②

○ 小中学校の増築と改修

第五小学校校舎棟増築工事
神宝小学校校舎棟大規模改修事業
大門中学校校舎棟大規模改修事業

○ (仮称) 上の原屋外運動施設整備工事 など



小中学校の増築と改修工事

- 第五小学校の校舎棟増築工事
2億7,244万3千円

児童数が増えている第五小学校で教育環境を改善するために、特別教室が入る校舎棟の増築工事を竣工し、今年度2学期から使用します。

- 神宝小学校校舎棟大規模改修事業
3億1,350万円

老朽化した東校舎棟で今後も児童が安全に過ごせるよう屋上防水・内外壁等の改修工事を行います。また、併せて既存の一部教室を特別支援学級用とするための改修工事を行います。

- 大門中学校校舎棟大規模改修事業
3億6,720万円

校舎棟東側で屋上防水・内外壁等の改修工事を行います。

運動場の整備のために (仮称)上の原屋外運動施設整備 1億6,069万4千円

2020東京大会等を見据え、市民の幅広いスポーツ利用機会を提供するため新たな屋外運動施設を整備します。



29年度に実施した南町小学校便所改修事業

30年度の東久留米市の主な事業⑤

☆地球環境にやさしいまち

- 庁舎照明LED化事業
- 公園灯LED化事業
- ごみ対策課庁舎外構等工事 など



庁舎照明LED化事業 2,480万円

市庁舎の照明器具(非常用照明器具、誘導灯を含む)の老朽化に伴い、省エネルギー化を目的として、LED照明器具へ更新するため、今年度は実施設計を行います。

公園灯LED化事業 498万7千円

市内の都市公園について、ESCO事業者と、公園灯の省エネルギー化を目的とした、設計・施行・改修・維持管理等、包括的な業務委託を行いCO2の削減を図ります。

ごみ対策課庁舎外構等工事 1,420万9千円

平成29年度にごみ対策課庁舎の整備工事を行いました。今年度はごみ対策課敷地内の外構を整備するための工事を行います。



ごみ対策課庁舎整備工事

? 予算から見てくる東久留米市の課題は

☆人口減少と社会保障費の拡大

- 市内の人口の急激な伸びは止まっており、少子化の影響も受けて働く世代の人口が減り始めているため、税収が減少していく心配があります。
- 75歳以上の高齢者が増えているため、医療や介護サービスに係る経費が増え続けています。
- 共働き世帯の増加により保育へのニーズが高まり30年度予算では児童福祉への支出が100億円を超えるまでに増えています。



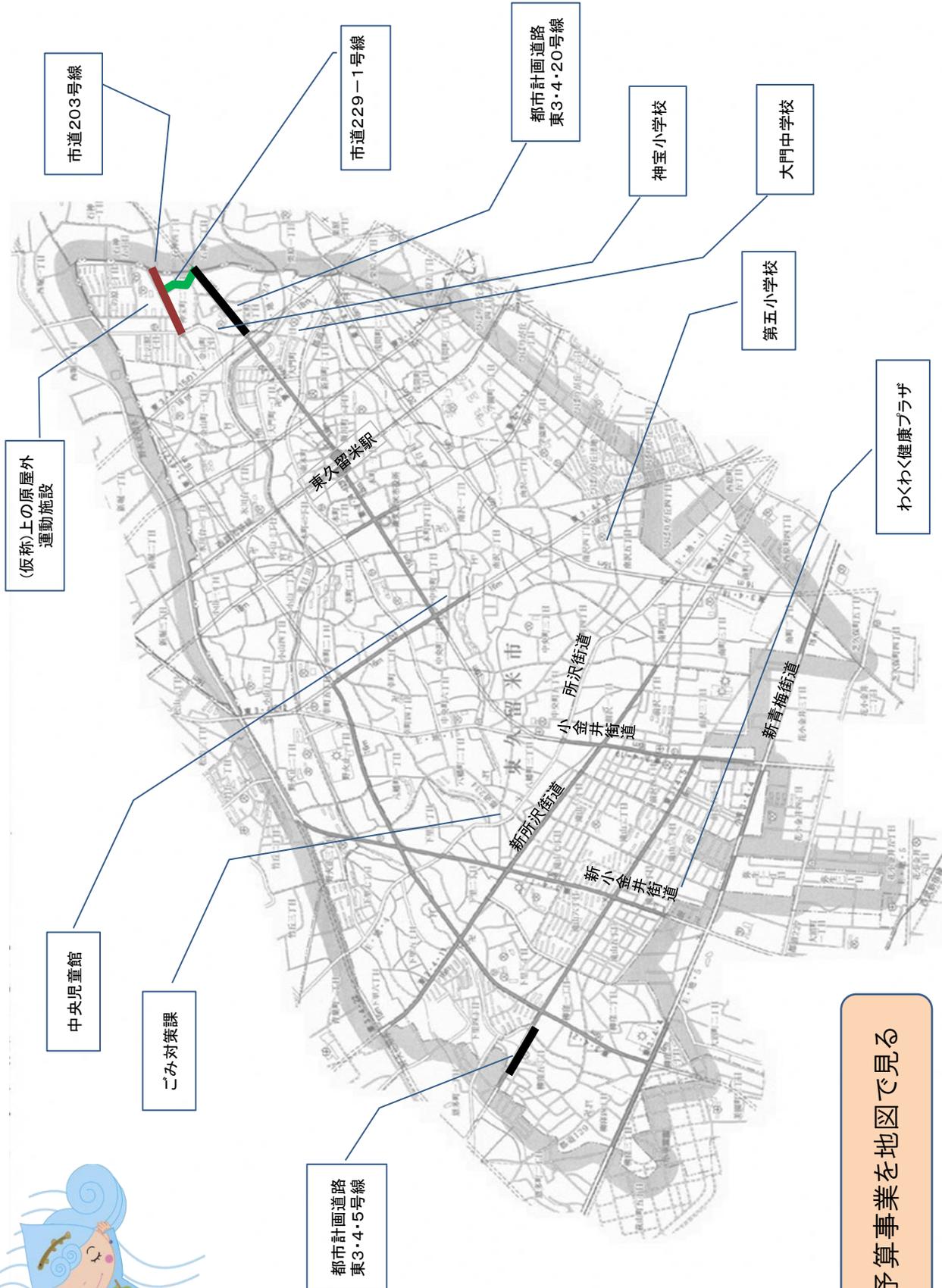
まちの魅力を高めて将来の人口減少を抑制するため28年度からの市の戦略を立てました。一方で支出を減らす努力もしています。



公共施設の改修に計画的に取り組み、安全に長く利用できるよう、28年度に「施設整備プログラム」を策定しました。

☆公共施設の老朽化対策と財源

- 人口が急増した昭和30～40年代に建設した施設が10年後から次々と建て替えを必要とする時期を迎え、その建設費の増加に対応する必要があります。
- 市の預金（積立金）を取り崩さないと毎年の予算が組めない状況が続いていますが、東京都の他市と比べ、預金の額が少ないのが実情です。



30年度の予算事業を地図で見る

予算は市民生活に密接に係わりますので、なるべくわかりやすく解説してみました。本冊子は毎年少しずつ改良を加えながら作成していきます。市民の皆さまからのご意見を踏まえ、来年度に向け更に読みやすいものにしていければと考えておりますので、ご意見等がございましたら下記までご連絡いただければ幸いです。

東久留米市 企画経営室 財政課（470-7706）まで

また、市ホームページ

(<http://www.city.higashikurume.lg.jp/index.html>)

にも詳しい資料がございますのでご利用ください。市役所1階 市政情報コーナーにて予算書そのものをご覧いただけます。また有料（一般会計予算書 1,200円）で頒布しております。



湧水の妖精
るるめちゃん



市の鳥「オナガ」

「東久留米市地域資源PRキャラクター」